

## 2 外国人観光客の誘客推進

これまで、国は「観光先進国」を実現するため、令和12（2030）年までに訪日外国人旅行者数6,000万人、旅行消費額15兆円等の目標を掲げた「明日の日本を支える観光ビジョン」を平成28（2016）年に示しました。

本県においては同年、「とちぎ観光立県戦略」を策定し、海外誘客の強化や受入態勢の整備等の観光振興に取り組んでおり、外国人宿泊者数は年々増加してきました。

しかし、令和2（2020）年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による渡航制限の影響で外国人観光客は全国的に大幅に減少する見込みとなっており、アフターコロナを見据えた対応が求められています。

### 訪日外国人観光客 ■ Foreign tourists

#### 観光需要の回復に向けた効果的なPRと受入態勢の整備

今後5年間は、豊かな自然や歴史、文化等を生かし、外国人旅行者も楽しむことができるコンテンツの造成やデジタルツール等の様々な媒体を駆使した効果的なPRに取り組むとともに、「新しい生活様式」への対応等、外国人観光客が安心して快適に楽しめる受入環境を整備します。

〔取組の方向性と主な取組〕

**情報発信**：海外誘客拠点やデジタルツール等を活用した効果的なプロモーション

旅行エージェントやキーパーソンとの関係構築・連携強化による誘客促進

本県が世界に誇る観光資源を活用した富裕層の誘客促進

**受入整備**：外国人材の活用による外国人観光客も楽しむことができるコンテンツの造成

外国語対応人材の拡充や案内表示の多言語化

Wi-Fi対応地域の拡大、トイレ洋式化等の整備

「新しい生活様式」に対応したアウトドアコンテンツ等の造成促進

**推進体制**：近隣都県やDMO<sup>※1</sup>等と連携した広域周遊観光の推進

MICE<sup>※2</sup>招致に向けた関係団体との連携強化

〔対象国・地域と取組ステージ〕

情報発信・観光誘客を実施する対象国・地域を、これまで誘客に取り組んできて更なる誘客が期待できる「稼ぐ」ステージ、今後観光客の増大が期待できる新たな市場として着手した「拓く」ステージ、さらには誘客拡大の可能性を「探る」ステージに分類し、段階に応じて取り組みます。

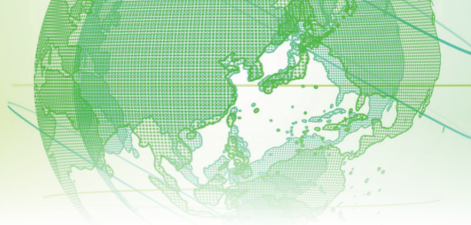
**稼ぐ**：中国、香港、台湾、タイ

**拓く**：ベトナム、米国

**探る**：オーストラリア、欧州

※1 Destination Management/Marketing Organization：地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行うかじ取り役となる法人

※2 Meeting, Incentive Travel, Convention, Exhibition/Event：ビジネスイベントの総称



図表 1 外国人観光客の誘客推進における現状等

【主な取組】	【主な現状】	【主な課題等】
外国人観光客の誘客強化	(1) 旅行需要： 新型コロナウイルス感染症の影響による各国・地域の渡航制限などから、世界的に停滞 (2) 宿泊者数： 中国・台湾等の東アジアに加え、米国からの宿泊者が多い（①台湾48.9千人、中国(大陸)36.3千人、米国21.2千人）	(1) アフターコロナに対応した誘客対策が必要 (2) 東アジア、東南アジアからの誘客に加え、特定の国・地域に偏らないバランスの取れた新たな市場の開拓が必要
外国人観光客の受入態勢の整備	(1) 受入態勢： 案内標識の多言語化や無料公衆無線LAN環境の整備率は4～5割にとどまっており、安心・安全かつ満足度の高いコンテンツも不足	(1) 外国人観光客に対する基本的な受入環境整備に加え、新たな旅行スタイルに対応した観光地づくりが必要

(注) 主な現状の丸囲み数字は年/年度



外国人観光客向けモデルツアー



国際旅行展（タイ）